

住民発議による

合併協議設置案を否決



臨時会当日の議場



意見陳述をする楠田一介氏

楠田氏の意見陳述

(全文)

鞍手では同一請求859人、賛同署名5870人という署名をいただきました。直方市にも小竹町にも同一請求者がいます。

我々は経済効果のもっとも高い合併特例法の下で、平成17年3月31日までに合併できるよう運動してまいりました。今日

運動してきました何百人、何千人という人が再設置を議会で可決されるようにと期待しております。複雑な経緯もありましようが、どうか1日も早く合併協議会を再設置され、もっとも効率的な特例法の下で合併し、力強い新市を建設していただきますように、ここにお願い申し上げます。

平成17年第1回臨時会が、2月28日に開催され、1月31日に同一請求代表者である楠田一介氏から法定要件である有権者の50分の1以上(859人)の有効署名をもって、住民発議による直接請求がなされたため、「直方市、小竹町及び鞍手町合併協議会」の設置について、町長の意見を付して議案が上程され、審議の結果、賛成7・反対8で否決しました。

直方市、小竹町においても、同様に本町と同一趣旨・内容による同一請求が行なわれ、両議会は賛成多数で可決されました。

この結果、合併協議会は設置されず、それぞれの市町は単独でいくこととなりました。

質疑

質問 12月定例会の中で、1市2町の合併問題が再考するようなことがあれば、町長は議会と相談をして慎重に進めていきたいということをおっしゃられたが、この意見書を見ると既に舵取りをされているように思われるが。

また、今日まで議会には正式にすり合わせ、意見調整はあつていないが、これは、議会軽視ではないのか。

町長 今回の提案は、合併特例法に基づき、有権者50分の1の署名をもって出された住民発議によるもので、議会に提案しなければならぬこととなっています。

質問 昨年の12月に署名運動が始まり、その当時の予想では1月の終わりから2月はじめに臨時会が開かれるのではないかと思っていました。どうして2月末までずれ込んだのか。

町長 1市2町の有志の皆さんで取り組まれて

いる内容でもあるので、1市2町が同一歩調をとるスタイルも必要ではないかという意味合いもあり、日程を調整して、同日直方市、小竹町、鞍手町が一齐に議会を開会しました。

質問 特例債の内、鞍手町にはこういう事業を行いたいということが町長、市長の間で決まっていたのか。

町長 合併することによって町が活性化しなければならぬ。中身としてはインター、遠賀川架橋、公共下水道、室木線跡地がきちんと整備されなくして活性化はあり得ないと申しました。

質問 現在町長は新市の名称が直方市でもいいと思っているのか。

町長 法定協の中で皆さんの意見を尊重していくべきであり、私ここで独創的に申し上げるの

は時期尚早ではないかと思えます。

質問 新市名が直方市と先に決まっているような対等合併があるのか。

町長 直方市は、市長も議長も何とか「直方市」をお願いしたいという気持ちであるが、我々は了解したことはありません。新市名は、法定協で協議して決定されます。これはあくまでも対等合併です。

質問 賛同署名を添えて法定協を立ち上げてくれという請求があつたにしても、最終的には住民投票で住民の意志を確認する必要があると思うが。

町長 5870名という賛同署名は大きな重みがあると思いますので、それが住民投票だとは言いませんが、しかし住民の声だということは言えると思います。

従って住民投票は現段階で実施するという気持ちはありません。

賛成討論

毛利議員 合併は新市の名称から崩れましたが、新しく有志の方の働きによって今回の再考の問題が生まれてきました。

私は鞍手町をこのままにしておけないということで、自発的にこの署名を集められた方々の意思を大切にしたい。

香原議員 合併により、経費が節約でき、広域行政も可能となつて思い切つた都市計画もできます。節約できたお金は住民福祉のために使うことができます。

財政難のことを考えると、政府が言うが言いまいが、特例債があるうがなかるうが、市町村合併は自分達で考えて進んでやらなければならぬ時代だと思えます。

日高議員 合併は市町、議会、住民の3つが一体となつて進められるものであり、お互いの価値を

高めるものと考えています。

今後も市町、議会、住民が一致団結して進めていく必要があると思えます。

吉田議員 住民の付託を受けた議員が真剣に町の将来、町民の生活を考えた時、まさに冷静になつて、確かに今までいろいろな経緯がありました。過去は過去として、町のこと、子ども、孫のことを考え、冷静な判断をしなければいけないと思えます。

反対討論

福本議員 一連の直方市議会による破壊的出来事は、鞍手町や小竹町に対する背信行為に等しく、法定協議会軽視も甚だしい。もはや建設的、協調的とはいえない直方市との信頼関係は崩壊し、現時点では合併のパートナーとしては適してなく、百歩譲つて合併して

も、その後の行政運営で直方市のワンマンは歯止めが利かなくなるのは必ずと思えます。このような状況の中、合併の再考は考えられない。

岡崎議員 ルールを破つて新市名称を直方市とすれば、以後ルールを守らなくても良いことになり、今後直方市の独走を許すことになり、ルールを守らない合併は住民の信頼も信用も得られないと、町長がはつきり住民説明会で説明しており、これが鞍手町としての公式の考え方だと思えます。もしそれを変更するのであれば、議会や町民に対してもう一度きちんと、なぜ変更するのかを説明すべきであり、それをしていない現状では合併協議会の再設置はあり得ません。

いつても、借金は借金です。合併して10年後のことを考えれば徹底した住民全体の論議が必要だと思えますので、早急なる合併には反対します。

松本議員 特例債を抜きにして本当に合併をしたのか。合併が必要なのか。住民と十分時間をかけて納得した上で、なおかつ住民投票を行い決めて。自分たちの町を愛して町を守り、発展させるために住民の知恵や考えを借り、自分たちの町のことを自分たちで決める。これこそ大義があると思えます。小さくても元氣な町づくりをしたいと思っています。

宇田川議員 合併すれば10年間の恩恵は受けられますが、それ以降は今まで以上に地方交付税は減らされてきます。また特例債は率のいい借金とは



審議を見守る傍聴者